

[新型コロナ](#)
[東京](#)
[首都圏](#)
[社会](#)
[政治](#)
[経済](#)
[国際](#)
[スポーツ](#)
[ライフ](#)
[文](#)
[主要ニュース](#)

## リニア工事差し止めを トンネル予定地の上の住民ら24人が JRを提訴 東京地裁

2021年7月19日 21時06分

JR東海が品川―名古屋間で進めるリニア中央新幹線のシールドマシンによるトンネル工事は騒音や振動で生活を脅かし、不動産価値の下落を引き起こすなどとして、東京都大田区と世田谷区で深さ40メートル超の大深度地下で建設予定のトンネルのルート上などに住む計24人が19日、同社を相手取り、両区にまたがる約4キロの工事差し止めを求める訴訟を東京地裁に起こした。

### ◆大深度工事、外環道では陥没

大深度のトンネル工事では昨年10月以降、調布市の東京外郭環状道路（外環道）のシールドマシンによる工事で陥没や空洞が発覚している。

訴状によると、住民はトンネルの真上も含め3キロ以内に居住。外環道工事と同様の被害が起きる不安を感じる上、住居の資産価値の低下などの可能性があるなどと主張している。

JR東海は「訴状を見ていないのでまだ何とも言えないが、適切に対応したい」としている。

リニアを巡っては、沿線1都6県の住民が自然環境への悪影響が大きいなどとして、国に工事実施計画の認可を取り消すよう求める訴訟を東京地裁に起こすなど複数の訴訟が係争中。

#### 企画特集

路面電車のE  
都電荒川線イ  
あなたの作品が

👑 ニュー

期間 3日間

五輪後、  
くらい  
1 僅中止

## ◆「家の下に穴」不安…原告ら訴え

政治 主



横断幕を手に東京地裁に向かう原告団＝19日午前、東京・霞が関で

「トンネル掘削が始まる前でも『家の下に穴が開くかもしれない』と不安だ。この精神的負担は既に被害ではないか」。原告団長の三木一彦さん（63）＝大田区＝は提訴後の記者会見で訴えた。

原告24人中、半数の12人が掘削予定ルート直上に住む。そのうちの1人、松本清さん（75）＝世田谷区＝は「工事計画は降って湧いたような話。あり地獄のように土地が陥没する不安がある」と心配する。

三木さんらは、自宅近くの地下にトンネルが掘削されると知った2018年以降、JR東海に詳細な説明や公聴会での意見聴取を求めたが、受け入れられなかったという。そんな中で外環道のトンネル工事で陥没・空洞が見つかった。

三木さんは言う。「前から危険だと言い続けていたことがやっぱり起きた。それでもJR東海は追加調査もしない。住民軽視で納得できない」（梅野光春）

関連キーワード

来日中  
み」  
2 社会 主

何を聞  
本紙な  
じ答え  
3 政治 新

グルメ  
合わせ  
4 判配慮  
経済 主  
ナ

五輪関  
食事場  
5 相が説  
社会 主



# NEWS WEB

ニュース

天気

動画

News Up

特集

スペシャルコンテンツ

NEWS WEB EASY

新着 **社会** 気象・災害 科学・文化 政治 ビジネス 国際 スポーツ暮らし 地域

注目ワード

大雨情報 (7月)

気象

新型コロナ ワクチン (日本国内)

新型コロナ 国内感染者数

新型コロナウイルス

もっと見る

オリンピック・パラリンピック

事故

LIVE 知的障害者施設殺害事件から5年 関係者会見



## リニア中央新幹線 都心のトンネル工事 住民が差し止め求め提訴

2021年7月19日 17時25分

都心の地下で予定されている「リニア中央新幹線」のトンネル工事について、安全に生活する権利などが侵害されているとして、沿線の住民グループが、JR東海に対して工事の差し止めを求める訴えを起こしました。

JR東海は、2027年に品川・名古屋間でリニア中央新幹線の開業を目指していて、このうち一部の区間では「大深度地下」と呼ばれる地表から40メートル以上の深さでトンネル工事を予定しています。

これについて、トンネルが通る予定の場所の周辺に住む大田区と世田谷区の住民24人が、JR東海に対して工事の差し止めを求める訴えを起こしました。

訴えによりますと、住民たちは、去年10月、同じ大深度地下で行われた東京 調布市で道路の陥没が発生したことなどから、同様の被害が発生するおそれがあり、安全に生活する権利などが侵害されているとしています。

また、トンネル工事の計画によって、周辺の地価が下落するなどの被害が発生しているということです。

# リニア工事止めて

## 東京地裁に都内住民が提訴

住宅地の地下深くにトンネルを掘るJR東海のリニア中央新幹線（東京・品川―名古屋間）建設工事による生活環境の破壊を懸念する東京都大田区と世田谷区の住民24人が19日、同工事の差し止めを求めて東京地裁に提訴しました。

ニアと同じ大深度地下トンネル（地表から40メートル以下）を掘削していた東京外環道の工事現場で陥没事故が発生したと指摘。JR東海が品川区で開いた説明会（6月8日）で「特殊な地盤はない」と説明し、追加のボーリング調査を行わないまま「住民の理解を得た」とする姿勢を批判しています。

提訴後の記者会見で、桐山正三弁護士団長は「わずか40メートルの深さで『地上には影響がない』とする大深度法をもとに工事が進められようとしている」と述べ、住民の人格権と財産権が侵害されると強調しました。



大田区に住む原告団長の三木一彦さん（リニアから住環境を守る田園調布住民の会代表）は「外環道の陥没事故で大深度地下トンネル工事の危険性が明らかになりました。取り返しがつかないことが起きる前に、なんとかしても止めたい」と力を込めました。

自宅の直下にリニアのトンネルが掘られるという原告の松本清さん（75）＝世田谷区＝は「工事が始まれば周辺一帯に被害が及ぶのではないかと（地価の下落など）財産価値への影響も大きい」と危機感をあらわにしました。

# リニア工事差し止めを

## 大深度掘削 東京で住民提訴

JR東海が品川―名古屋間で進めるリニア中央新幹線建設で、シールドマシンと呼ばれる掘削機による地下トンネル工事は騒音や振動で生活を脅かし、不動産価値の下落を引き起こすなどとして、東京都内の地下ルートに沿った住民計24人が19日、同社を相手取り、東京都大田区と世

田谷区にまたがる約四キロの区間の工事差し止めを求める訴訟を東京地裁に起こした。

原告は両区の住民。深さ四十メートル超の大深度地下で建設予定のトンネルの真上やその周辺に住む。大深度のトンネル工事では昨年十月以降、東京都調布市の東京外環状道路（外環道）の

シールドマシンによる工事で、地上部の陥没が発覚した。訴状によると、住民は外環道工事と同様の被害が起きる不安を感じる上、住居の資産価値の低下などの可能性があると主張している。JR東海は「訴状を見ているのでまだ何とも言えないが、適切に対応したい」としている。

大深度地下でのトンネル建設工事は、名古屋市や愛知県春日井市などでも行われる。

# 朝日新聞

2021年12月20日 朝刊

## 地下工事差し止め求め提訴

### 東京地裁 リニア巡り沿線住民ら

リニア中央新幹線をめぐり、大田区と世田谷区の住民ら24人が19日、計画を進めるJR東海を相手取り、工事の差し止めを求める訴えを東京地裁に起こした。

差し止めの対象は両区にまたがる区間で、地下トンネル工事が予定されている。リニアと同じ大深度で進む東京外郭環状道路の地下トンネル工事では、昨年10月に調布市のルート上の道路が陥没した。

訴状では、この事故も引き合いに出して「地表面の陥没や地盤沈下を伴い、平穩な生活を送る権利や財産

権が侵害される」と主張。リニア建設による地価下落、工事の騒音や振動による健康被害も訴えている。

提訴後に会見した原告の一人三木一彦さんは家の周りに穴があくかもしれないという精神的な不安は大さきい。リニア工事をやめるまで不安は続く」と話した。

JR東海は「訴状を見ていないので申し上げられないが、適切に対応していく」とコメントした。(村上友里)